



はつらつセンター

会報 97号

令和8年9月25日

小山シルバーだより



女性委員会 寄せ植え教室(5/29)

主な記事の内容



寄せ植え完成

- P 2 3 令和8年度定時総会開催
令和8年度表彰
- P 4 理事会報告
職群班班長会議
地区役員会議
救命入門講習会
フレイル予防講習会
- P 5 認知症に係る特集記事
- P 6 普及啓発促進月間事業計画
除草班・班会議
入会説明会のご案内

健やかで活力ある高齢社会の維持・発展への寄与を目指して

公益社団法人 小山市シルバー人材センター

令和8年度 定時総会開催



令和8年6月18日(木)
小山市立文化センター小ホール

理事長あいさつ

理事長 生井 克明

昨年度のセンターの請負・委任の契約実績は、約12・6%増の3億6,875万円となり、中期計画の目標をほぼ実現することができました。これも会員と事務局の皆様のご努力によるものと感謝申し上げます。

一方、会員数は本年3月末、552名(男417名、女135名)と前年比13名の増となりました。会員開発担当の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。

今年度の取組として、「会員によるクチコミ勧誘活動」を実施します。ご紹介頂いた方が入会された時には、些少ですが、お礼を差し上げます。会員の皆様のご協力をお願いします。

センター事業の普及のため、市内全戸にPRチラシを配布していますが、今年度から配布方法を新聞オリコミに変更しました。このことにより、市民の皆様にシルバーが浸透していくことを願っています。

安全就業を進めるべく、安全パトロールに草刈り班・植木班の代表者の方にも加わって頂き、注意を促していますが、事故は中々減りません。総会時に配布しましたタオルに「安全作業は手元、足元、心の管理」という安全標語をプリントしましたので、折にふれ、タオルを見て、安全就業に努めて頂ければと思います。

今年度も「自主・自立」「共働・共助」の精神の下、小山市においてなくてはならない存在となるべく、取り組んでいきたいと思っています。会員の皆様のご協力をお願いします。

ご挨拶をいただいた来賓

小山市長

浅野 正富様

小山市議会議長

福田 幸平様

小山公共職業安定所長

涌井 慎一様

栃木県シルバー人材センター連合会

理事長のメッセージの披露

議案審議について

報告事項

・令和7年度事業報告について

・令和8年度事業計画及び計算書類等について

決議事項

・令和7年度計算書類等の承認の件について
それぞれ議案のとおり可決承認されました。

◎会員のクチコミによる勧誘活動

充実したセンター運営を進めるには会員数を増強していくことが必要です。

センターに関心をお持ちの方をご存じでしたら、是非ご紹介ください。

令和8年度表彰

(敬称略、順不同)

◆他の会員の模範となる会員 9名

田中すみえ
間々田駅東公共駐輪場森谷直純
あさひ公園吉原 清
市役所本庁舎休日夜間受付森 勝
大谷市民交流センター柏崎勝巳
植木班赤坂孝雄
総務部会 適正就業担当

◆センターの発展に貢献した会員

8名

岩村計行
広報部会 広報編集担当大高 昇
植木班大塚公夫
市役所本庁舎休日夜間受付持田幸作
墓園やすらぎの森大島 勇
小山運動公園清掃管理

◆永年勤続表彰 10年 24名

岩村 計行(小山A) 柚木恵美子(桑 絹)
 竹澤 實三(間々田) 荒川 公延(大谷A)
 名瀬 智健(美 田) 大門 廣(桑 絹)
 田村 英男(大谷B) 野澤 利秋(間々田)
 寺内千代子(美 田) 神保 哲雄(桑 絹)
 中村 悦子(小山A) 菅野 恒孝(小山A)
 原部 勝人(桑 絹) 吉澤 幸一(大谷B)
 上杉 俊子(小山B) 椎名 正光(大谷A)
 小林 信治(美 田) 小高 次男(間々田)

◆特に表彰に値する会員(1グループ・1名)

・植木班「秋山グループ」
・会員親睦会役員(会計)

原田利江

高垣敏之
間々田地区 地区委員福田峰夫
大谷B地区 地区委員野口和男
小山A地区 副地区長吉成雄平
桑絹地区 副地区長小高次男
間々田地区 地区委員白井利宗
小山B地区 地区委員

◆喜寿祝いを受けられた方々

(会員親睦会) 29名

高山 文男(間々田) 小野原久夫(桑 絹)
 福田 弘美(大谷A) 小井田 裕(大谷B)
 竹原 正夫(小山A) 佐々木 茂(小山B)

藤沼 英一(美 田) 藤本 正美(大谷B)
 佐藤 盛夫(小山B) 柳田みち子(間々田)
 星 和光(大谷A) 高木 富江(間々田)
 金子 和義(大谷A) 古澤 善夫(美 田)
 小林 充親(大谷B) 海老沼文男(大谷B)
 影山 博保(大谷A) 須田 晴司(間々田)
 長 克己(小山A) 藤倉 拓治(大谷A)
 福田 峰夫(大谷A) 野中 昭男(大谷B)
 木原 重成(間々田) 大野 道治(間々田)
 柚木恵美子(桑 絹) 菅野 恒孝(小山A)
 小井田 裕(大谷B) 大塚 公夫(小山B)
 赤坂 孝雄(美 田) 田島 義行(大谷B)
 小笠原君江(小山A) 大野 ちい(大谷A)
 市岡 亨二(大谷B) 小林 茂次(桑 絹)
 田中すみえ(間々田)

◆県連表彰 1名

会員として20年以上にわたり、シルバー人材センターの発展に寄与された会員が栃木県連合会から表彰されました。
 当センターから次の方が表彰され、6月25日の理事会の冒頭、表彰状が伝達されました。

河田信子
(大谷B)

● 理 事 会

令和 8 年度第 1 回 (4 月 23 日)

* 正会員・男性 7 名、女性 2 名の入会承認
* 表彰者の承認

令和 7 年度補正予算 (第 3 号)

令和 8 年度第 2 回 (5 月 21 日)

* 正会員・男性 3 名、女性 2 名の入会承認
* 令和 7 年度事業報告の承認

令和 7 年度計算書類等の承認

(貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認)

* 定時総会の招集について

* 議決権行使書面等の様式について

令和 8 年度第 3 回 (6 月 25 日)

* 正会員・男性 5 名、女性 3 名の入会承認
* ゴールド会員の承認男性 1 名

* 普及啓発促進月間行事の実施について

令和 8 年度第 4 回 (7 月 23 日)

* 正会員・男性 3 名、女性 4 名の入会承認

掲 示 板

4/20

職群班班長会議開催

令和 7 年度の就業先訪問・安全パトロールの結果、及び発生した事故の内容が報告されました。

○就業先訪問・安全パトロールは 10 回、25 箇所

○発生した事故は 12 件

・就業途上の交通事故が 1 件

・就業中の損害賠償が 8 件 (刈払い機による飛び石事故が目立ち、注意が呼びかけられました。)

・会員の傷害事件は 3 件 (蜂刺され報告が 1 件で、他にもあると思われる、報告が求められました。)

○事務局から就業に係る損害事故が増えていることから、賠償責任保険に係る免責額が 3 万円から 10 万円に引き上げられたことが報告され、事故に対する注意喚起がされました。

5/23

地区役員会議開催

始めに地区・班の役割についての説明があり、次に令和 8 年度の普及啓発促進事業の計画、各地区の活動予定が報告されました。

最後に総会開催に向け、役割分担が確認されました。

6/5

救命入門コース講習会

6 月 5 日 (金) 14 時から 15 時 30 分にわたり、講習会が開催されました。

参加者は 12 名 (内女性 2 名)、講師には市消防本部から救急救命士の方 1 名を派遣して頂きました。

講習の内容は、心臓マッサージ (胸骨圧迫)、AED の基本的な使用法、けがをした際の簡単な止血法でした。

講習は、実際に機材を使いながらの訓練で、救命措置の重要性を体験的に学びました。

「AED は誰でも使えるのか」「心臓マッサージはどの程度の強さなのか」など、参加者からの活発な質問に、講師からは分かりやすく丁寧な説明がありました。

突然の事故や急病は、いつでもどこで発生するかわかりません。いざという時には、今回の講習で学んだ知識と技術を思い出し、まずは落ち着いて、尊い命を救うために行動していただけたらと思います。



写真上: 心臓マッサージの練習
写真下: AED の説明



8/5

フレイル予防講習会

フレイルについては、既にご承知のことと思いますが、「高齢になることにより、心身が老い衰えた状態」と言います。フレイルのことについて、正しく理解し、今後のシルバー活動・生活に活かして頂くため、小山市健康増進課にご指導を依頼しました。フレイルに関する座学は栄養士の櫻井さんから、フレイル対応の運動はトレーナーの直井さんから指導を受けました。

座学では、まずフレイルの 3 つの柱 (食べる、運動、社会参加) についての説明がありました。

食べるでは食生活の注意・オーラルケア、運動ではウォーキング・筋力トレーニング等習慣化することが大切と伺いました。社会参加では、社会との繋がりを欠くと心が傷み、口・栄養・身体へとフレイルの多米ノ現象に連鎖するということお話をしました。

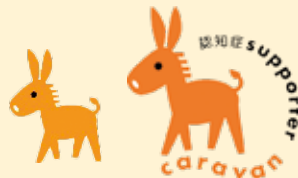
座学の後、運動の実践となりました。準備体操からフレイル対応の運動として、足腰を鍛えて転ばないようにするためのスクワットを教えて頂きました。参加者 16 人、熱心に取り組んでいました。シルバー事業に参加することはフレイル対応に最適と言われていますが、課題の運動を難なくこなされていると思います。今後も講習の結果を活かして頂きたいと思っています。



スクワットの実習

～認知症対応シリーズ①～

認知症を知ることからはじまります



『認知症』とは…

認知症は様々な原因によって脳の働きに変化がおこり、これまで普通にできていたことが難しくなり、生活に支障が出ている状態をいいます。

「もの忘れが多くなった」「同じ話を繰り返す」といった症状だけでなく、不安や混乱から怒りっぽくなったり、うつ状態になったりすることがあります。周囲からは理解されにくいので、ご本人は戸惑いや不安を抱えながら毎日を過ごしています。認知症の初期は生活の中での失敗が増えます。そのためストレスが募り、周囲の人とのトラブルが起こることもあります。本人や家族は、ひとりで悩まず、周囲に相談することが大切です。

認知症かな？
と思ったら①

相談窓口

QRコードから
詳しい情報が
ご覧になります



市や高齢者サポートセンターの認知症地域支援推進員が電話や窓口でご相談を受けています。
また、中央図書館で年3回開催しているもの忘れ相談会にもお気軽にお越しください。

センター名	場 所	電話番号
基幹型地域包括支援センター兼 高齢者サポートセンター小山総合	中央町2丁目2番21号（総合福祉センター内）	22-3061
高齢者サポートセンター小山	神鳥谷 2251 番地7（健康の森さくら内）	31-0211
高齢者サポートセンター大谷	横倉 499 番地6（あいとびあ内）	27-6646
高齢者サポートセンター間々田	間々田 1960 番地1（しらさぎ館内）	41-2071
高齢者サポートセンター美田	松沼 467 番地（豊田公民館内）	32-1881
高齢者サポートセンター桑絹	羽川 858 番地1（マルベリー館内）	30-0921

認知症かな？
と思ったら②

医師に相談

かかりつけ医に相談してみましょう。認知症サポート医、オレンジドクター
認知症疾患医療センターでも相談できます。市や高齢者サポートセンターにお問い合わせください。

認知症かな？
と思ったら③

居場所づくり ～認知症カフェ～

QRコードから
詳しい情報が
ご覧になります



市内に7ヶ所の認知症カフェがあります。認知症のご本人や家族、介護を経験された方、認知症に関心のある方、どなたでも参加できる交流の場です。お茶を飲みながらおしゃべりや情報交換ができます。認知症のご本人にとっても安心して過ごせる場です。

市内の認知症カフェ一覧 *詳細については、連絡先または高齢生きがい課までお問合せ下さい



名称／連絡先	開催日／時間	名称／連絡先	開催日／時間
オレンジカフェ 総合福祉センター4階 22-9853（高齢生きがい課） 090-4397-5512（介護家族の会）	毎月第2・4火曜日 13時半～15時半	ほのかさろん 穂の香苑内 45-1156	毎週月曜日 10時～12時
夢紡ぐ家～たむらさんち～ きぬの里内 090-1667-2418	毎週火・金曜日 9時半～15時半	風わらう喫茶 風わらう舎内 31-0255	毎月第3木曜日 13時～15時
ひなたぼっこ いきいきふれあいセンターおとめ内 45-5501	毎月第1・3水曜日 10時～11時半	フレンドカフェ ふれんど小山デイサービスセンター内 30-0130	3・6・9・12月 （最終金曜日） 13時半～15時
		ふる郷カフェ 小山整形外科の郷内 31-1165	毎月第3水曜日 13時半～15時

認知症を正しく知っていただくための『認知症サポーター養成講座』を出前講座などで開催しています。関心のある方は下記までお問い合わせください。

（お問い合わせ）小山市 高齢生きがい課 在宅医療介護連携係 ☎ 22-9853

普及啓発促進月間事業計画

① 地区別クリーン作戦

実施基準日 10月17(土)

地区ごとに計画が立てられ、地区長から案内があります。多く会員のご参加をお願いします。

② 「小山シルバーフェスタ in 2026」

12月5日(土)

中央公民館第二研修室

「会員作品展」

文化センター小ホール

「地区対抗輪投げ大会」

「カラオケ会」「歌声(楽器演奏)」「バザー」(野菜等)



昨年度の会員作品展より

「除草班・班会議」開催(5/29)

会員の意思統一と安全就業を目的に、草刈り班、草刈り班に分かれ、班会議が開催されました。午前開催の草刈り班には18名、午後開催の草刈り班には26名の会員が参加しました。

除草作業は暑い季節に数多く受注しますので、熱中症対策や蜂刺され対応等、注意すべきことがたくさんあります。参加者は、講習内容や啓発動画を熱心に視聴され、活発に議論されました。

特に草刈り班の飛び石事故対策は重要事項であり、特に熱心に取り組んでいました。

これを機会に「安全就業第一」に就業することを出席した会員全員で確認し合いました。



入会説明会のご案内

入会は60歳以上の小山市民です。

令和8年10月6日(火)午後1時30分

令和8年11月10日(火)午後1時30分

令和8年12月1日(火)午後1時30分

令和9年1月5日(火)午後1時30分

※会場は、シルバー人材センター研修室です。

会報 シルバーだより第97号

発行日 令和8年9月25日

発行所 小山市シルバー人材センター

〒323-0829

編集 小山市東城南5丁目15番地8 広報部会

会員数

令和8年8月1日現在

	人数	総数
男	415人(前年比+1人)	551人 (前年比+10人)
女	136人(前年比+9人)	

契約金額

令和8年4月1日～令和8年7月31日

請負金額	令和8年度	115,056,729円
	令和7年度	117,799,976円
	比較	△2,743,247円
派遣金額	令和8年度	8,961,169円
	令和7年度	6,090,393円
	比較	2,870,776円
総契約額	令和8年度	124,017,898円
	令和7年度	123,890,369円
	比較	127,529円

